

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業

周縁的社会集団と近代一日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第14回セミナー（2018年度第10回）

今回のセミナーでは、本事業の海外連携研究者である張智慧氏(上海大学)に、報告をしていただきます。張氏は、第一次上海事変期における日本人居留民に対する救済問題について検討してきました。今回は、時期を遡り第一次世界大戦期における日本人居留民の「住宅難」問題とコミュニティの形成について、都市社会史研究の視点から論じていただきます。

中国近代史や近代都市社会史、地域社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



現代上海の民衆的住宅（2018年5月、佐賀朝撮影）

日時 2019年1月31日(木) 14:00～16:30ごろ

会場 大阪市立大学 文学部会議室(文学部棟 1F L122)

内容 張 智慧氏（上海大学・文学院歴史学部・副教授 / 海外連携研究者）

「戦前上海における日本人居留民の「住宅難」問題とコミュニティの形成」

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail:CYI03126@nifty.ne.jp